

創英ゼミナール

緊急事態宣言への対応策として

独自のオンライン自宅受講システムを開発

新型コロナウイルスに対する政府の緊急事態宣言を受け、生活はもちろんこと、学校の休校など教育にも甚大な影響がでてきている。その中で、様々な塾が創意工夫をして、子供たちの学習を支えている。神奈川県で個別指導専門塾を展開する創英ゼミナールもそのうちのひとつだ。

GW中は「オンライン自習室」を開講

創英ゼミナールを運営する株式会社創英コーポレーション（神奈川県横浜市、豊川忠紀代表取締役）は、緊急事態宣言発出後の子供たちの学びを継続させるため、独自の「オンライン自宅受講システム」を開発。県内に展開する全101校で提供をしている。

対象は創英ゼミナールに通う小学生から高校生だ。「学校に通っていけば、子供たちは毎日4時間30分の学習を受けています（45分×6校時）。この学習時間

は子供たちの大切な権利。

その権利を少しでも守るために、今私たちができるところを考え、今回の「自宅受講」を実施しています」（同社プレスリリースより）

創英ゼミナールの「オンライン自宅受講システム」は、

『オンライン受講』
『家庭学習課題の指導』

『カウンセリング』

の3つを柱にし、家庭学習を促進する。緊急事態宣言が解除され、学校が再開されるまで提供する予定だ。

『オンライン受講』は、今まで受講していた科目を、教科書対応の動画教材により自宅で受講できるもの。『家庭学習課題の指導』では、今までの受講科目はも

ちろん、本来は学校で進めるべきであったカリキュラムに沿って、家庭学習を進めることができる（小学生は2科、中1は3科、中2・中3は5科、高校生は2科）。

『カウンセリング』は、WEB会議システムを使用し、生徒と対面で、学習の進捗を確認し、悩み事や普

段の生活も含めて話しあい、学習への意欲を引き出していく。

また、4月27日には、「学校が長期休業を余儀なくされる中、『子どもたちの学習を絶対に止めてはいけない』（創英ゼミナール）という考えのもと、GWの特別企画として「オンライン自習室」を無料で開室することを決定した。

生徒は、決められた時間になると、教室にアクセス。講師と対面で現在の状況を確認し、講師が見守る中、自宅で自習を進める。

自分一人ではない緊張感ある環境を作りだし、わからない問題などは、いつでもオンライン上で講師に質問できる。↖

◀創英ゼミナールは、ゴールデンウィーク期間中、生徒の自習をより効果的なものにするために、教室の講師と自宅にいる生徒をオンラインで結びサポートしていくという。